

令和2年度 在宅療養推進事業実績（概要）

○実施 △一部実施 ×中止

8項目	事業	実施有無	活動概要
ア) 地域の医療・介護の資源の把握	・医療社会資源調査 ・在宅療養あんしんハンドブック作成 ・医療社会資源情報検索システムの更新	-	無し (3年毎実施のため、次回の調査実施は令和4年度)
イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	東京都北区在宅療養推進会議および検討部会	△	第1回 R2年 6月3日 書面開催 第2回 R2年11月6日 WEB開催 (部会の開催は無し)
ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進	協力支援病床確保事業	○	利用件数：4件 (R3.2月末時点) 利用後の状況：転院1件、退院3件 ※詳細別紙
エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援	多職種ネットワーク構築事業 (ICTを活用した情報共有の支援/北区医師会への補助)	△	啓発事業(セミナー、講演会)等は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施せず。
オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援	在宅療養相談窓口事業運営委託 高齢者あんしんセンターサポート医事業	○	【相談窓口】 利用件数 34件 (R3.2月末時点) ※詳細別紙 R2年度より、委託先をあすか山訪問看護ステーションに変更。 【サポート医】 訪問相談件数 15件
カ) 医療・介護関係者の研修	多職種連携研修/顔の見える連携会議 (北区在宅ケアネットへの補助)	△	新型コロナウイルスをテーマに、WEBによる研修を2回実施。 ※詳細別紙
キ) 地域住民への普及啓発	区民啓発講演会	×	中止
	出張出前講座	×	中止
その他	摂食えん下機能評価医・リハビリチーム養成フォローアップ研修	×	中止
	区民(介護者)向け摂食えん下講座	×	中止
	病院救急車を活用した搬送事業への補助 (北区医師会への補助)	○	搬送件数 22件 (R3年1月末時点) ※詳細別紙
	在宅療養相談支援研修	○	R2年度の新規事業。 区内訪問看護師が対象に在宅療養支援に関するWEB研修を実施。(参加：16ステーション 22名) ※詳細別紙

別紙) 事業実績詳細

■在宅療養相談窓口事業【オ】

病院や地域医療機関、ケアマネジャー等からの退院支援を中心とする専門相談に応じ、適切に在宅療養が行えるよう、関係機関と調整を行う「専門職のための相談窓口」を設置し、在宅療養生活の継続を支援する。令和2年度より、相談内容の対象を高齢者だけでなく、障害児・者に広げるため、委託先を変更した。

【委託先】 あすか山訪問看護ステーション（R2年度より）

【R2年度実績（1月末時点）】 34件

相談者	区内	区外	合計	相談内容	件数
病院	4	5	9	退院調整（マッチング）	1
診療所	0	0	0	退院相談	6
高齢者あんしんセンター	9	1	10	在宅医	4
訪問看護ステーション	3	2	5	訪問看護ステーション	8
ケアマネ	6	1	7	他科診療の往診医	0
区民	0	0	0	制度等について	3
その他	2	1	3	その他	12
合計	24	10	34	合計	34

■高齢者あんしんセンターサポート医事業【オ】

訪問相談件数 15件（2月末現在）

年齢

40代	50代	60代	70代	80～ 84歳	85～ 89歳	90歳 以上	合計
0	0	1	4	3	5	2	15

要介護度の状況

	要支援		要介護					無	不明	申請中 ・区変
	1	2	1	2	3	4	5			
R2年度	0	1	0	0	1	0	0	13	0	0

相談内容（複数回答）

	在宅療養 支援	退院支援	受診困難				
			認知症の 疑い	虐待の疑い	セルフネグレ クト	介護困難	その他
R2年度	0	0	12	3	2	0	5

■多職連携研修・顔の見える連携会議【カ】

【補助先】 北区在宅ケアネット

WEB による研修会を 2 回開催。顔の見える連携会議は実施せず。

	開催日時	内容	参加者
第 1 回	7 月 19 日（日）	新型コロナウイルス在宅・施設における感染対策 講師：平原佐斗司氏(梶原診療所／北区在宅ケアネット世話人)	68 名
第 2 回	（1 日目） 12 月 2 日（水）	ウイルスの性質、感染経路と予防法（基本講義） 講師：平原佐斗司氏(梶原診療所／北区在宅ケアネット世話人)	106 名 (生配信視聴者 66 名)
	（2 日目） 12 月 13 日（日）	① 北区の COVIT-19 の状況と北区保健所の対応 講師：前田秀雄（北区保健所長） ② 病院での対応の実際と地域に求めること 講師：宮崎国久（東京北医療センター管理者） ③ 事例検討、グループワーク	45 名

■在宅療養支援研修【その他】

北区の医療・介護資源やサービスに精通し、患者にあった医療コーディネーターや地域の複雑な対応困難事例に対応できる人材（訪問看護師）を育成し、北区の在宅療養における相談支援体制の充実を図ることを目的に、区内在勤の訪問看護師を対象とする研修会を実施。

【委託先】 訪問看護ステーション連絡協議会

開催日時	【1 日目】 令和 3 年 2 月 7 日（日） 10:00~17:00	【2 日目】 令和 3 年 2 月 14 日（日） 10:00~16:30
会場	Zoom による WEB 研修	Zoom による WEB 研修
参加人数	22 人、オブザーバー（聴講）5 人	21 人 オブザーバー（聴講）7 人
内容	講義 ① 「北区の現状と課題、在宅医療・介護連携の取り組み」（阿部巨平／北区地域医療連携推進担当課） ② 「在宅医療の実際」（平原佐斗司／梶原診療所所長） ③ 「保健師との連携」（飯田光／北区健康推進課） ④ 「生活保護制度」（薬王寺龍太／北区生活福祉課） ⑤ 「成年後見制度」（飯野加代子／北区社会福祉協議会・権利擁護センター「あんしん北」センター長）	講義およびグループワーク ① 障害福祉制度（森澤亜希子／北区障害福祉課） ② 「病院の機能と退院調整の実際・病床確保事業を含めた入退院の実際」（青木真／東京北医療センター-MSW） ③ 訪問看護の実際とグループワーク ④ 「家族への支援～関係性や病気への理解～」（平原優美／あすか山訪問看護ステーション所長）